

# 論文審査の要旨

報告番号	修 第 1283 号	氏 名	黒山 祐貴
論文審査担当者	主 査 関屋 昇 副 査 伊藤 純治 副 査 佐藤 満		
(論文審査の要旨)			
<p>修士論文「肺癌周術期呼吸リハビリテーションにおける身体活動量評価の重要性～入院前・入院期身体活動量と術後経過の関係～」は、周術期肺癌患者 42 名を対象として、活動量計を用いて測定された入院前・入院期活動量、呼吸機能、身体機能、および術後合併症との関連を後方的に調査した研究である。その結果、入院前身体活動量と術前呼吸機能には関連が認められなかったが、入院前身体活動量を従属変数とした重回帰分析では、年齢、入院前高活動時間、10m最大歩行速度が独立変数として採択され、高い寄与率を示した。また、合併症と術前呼吸機能には関連が認められなかったが、合併症がある群は無い群と比較して、入院前および入院期身体活動量が低値であった。本研究は、多くの重要な論文を用いたレビューを通じて問題を明らかにしたうえで行われ、術前身体活動量の術後合併症への影響を示唆している。得られた結果をもとに周術期肺癌患者の呼吸リハビリテーションのあり方が論じられており、保健医療学の領域に資する研究と思われる。</p> <p>以上の結果より、本論文が保健医療学修士の学位に相当するものと判断した。</p>			